

谷外科病院広報誌

くまのみ通信



Vol. 58 2024年8月発行



医療法人 吉備会 中谷外科病院

〒706-0001 岡山県玉野市田井3-1-20 TEL 0863-31-2323 FAX 0863-31-8486 https://www.nakatani-hosp.jp/



ご挨拶

残暑お見舞い申し上げます。令和6年8月1日、中谷外科病院は58回目の誕生日を迎えまし た。これまで永きにわたり当院をささえていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

「私たちは患者さんとともに歩みます」の理念のもと、当院は常に患者さんの立場に立ち 行動し、地域の患者さんやご家族に愛され続ける医療機関であるよう、これからも職員一同 精進して参ります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

朝夕には少しずつ秋の気配を感じられるようになりましたが、まだまだ暑さが続いて おります。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。皆様どうぞご自愛のうえ 健やかな日々をお過ごしください。

> 中谷外科病院 院長 中谷 2024年8月吉日

カナダ旅行記

私事ではありますが、今年のゴールデンウイークを利用してカナダ 西海岸に行ってきました。実に7年ぶりの海外旅行でしたが、現地に住 む旧知の友人家族がお世話してくれたお陰で安心して旅することがで き、命の洗濯をして無事戻って参りました。

春の訪れとともに、バンクーバーは街全体が緑に包まれ、色とりど りの花々が咲き誇っていました。爽やかな風を感じながら電動自転車 で町中を散策すると、高層ビル群の間から山頂に雪をかぶったカナ ディアンロッキーがかいま見えます。地下鉄の駅の近くの公園では、ニー ル・ヤング(カナダ出身のシンガーソングライター)の名曲「Heart of Gold(孤独の旅路) | をストリートミュージシャンが演奏しており、思わず 自転車を降りて聴きこんでしまいました。

多くの移民を受け入れるバンクーバー市内には多文化が共存してお り、食事も多様で、地元の新鮮なシーフード、アジア料理からイタリア ンまで、バラエティ豊かな食事を満喫しました。特に友人の家で茹でて 食べた蟹は最高でした。

滞在中、ダウンタウンから山に向かい3時間ほどドライブして訪れ たハリソン温泉(Harrison Hot Springs)では、水着を着たままゆっくり 湯治をさせてもらいました。大自然と異文化の中で旧友と語らい、自分

自身と向き会うことの出来た最高の1週間でした。 健康で旅ができることに感謝です。







中谷

栄養部における実習生の受け入れ

6月10日~21日まで4名のノートルダム清心女子大学人間生活学部食品栄養学科の実習生を受け入れました。当院には病院と委託をあわせると管理栄養士・栄養士総勢6名おり、実際の大量調理の習得以外に思い出になり、将来のヒントになるような実習内容にしました。実習のポイントは患者さん・実習生・指導者それぞれがWin-Win-Winとなることです。患者さんには実習生が考えた鳥取県、長野県の郷土料理や、ソフトクリームを提供しました。指導者は指導することで自身の仕事内容を整理し、座談会では実習生から質問をうけ職員それぞれの強みを認識し大変刺激をうけました。実習生はそれぞれ学びの多い時間となったようです。他者を尊重し互いに学びあう姿勢で心豊かに社会に羽ばたけるように応援しています。





管理栄養士 松本英子

実習生感想

私たちはこの度、中谷外科病院で一週間の実習でお世話になりました。この間、管理栄きまの医療現場での重要さを学ぶことがを患者での意事形態に自分たちでたて、献立をを患るとなる。実際に自分たちでた、関したものをを表した。まの後事形態に合わせて展開したもの流事形態の人と、調理過程での工夫や食事形態をするとができ、当などを学ぶことができ、給食委託側できるとができました。また、管理栄養さんの書がとなども学ぶことができませんのに、調理員さんやその他従業員さんとの信頼関係の築き方なども学ぶことができまり、病院管理栄養さんのも、治療であるということを学びことを学びことがであるということを学びまり、

津田 さくら 森田 真央

給食の大量調理の実習で5日間、大変お世話になりました。人生で初めての実習ということもあってすごくわくわくとドキドで記さった5日間でした。大量調理は学校で調理は学校で調理は学校で調理はど経験しましたが、やはり現場の調理は関係を見るのは難しいと思いるというと見いるのでは、現場では患者さんの食形態に合わり、患者さんに寄り添った食事を提供されているのだと感じました。実際に病院で働いさんのお話や素のでき、とても充実した日々でした。

坂入 万耶

片山結愛



研修医の先生

7月の1か月間大変お世話になりました。研修初日はおどおどしていた自分でしたが、院長先生をはじめとした職員の皆様が温かく接してくださったおかげで1日目からイキイキと働くことができました。アットホームで素晴らしい環境で研修させていただき、深く御礼申し上げます。岡山労災病院で1年間の初期研修を終え、医師としての力をはかる試金石のような研修だったように感じました。Common diseaseの対応や内視鏡検査、病棟業務、基本的な外来診療など多くの経験をさせていただく中で自分の至らない部分をたくさん発見することができました。印象的だった

ことは、四肢の外傷の症例が多かったことです。院長先生に相談させていただきながら処置を行い、創部フォローを自分の外来でさせていただけたことが特に良い経験になりました。

中谷外科病院で学ばせていただけたことや経験させていただきましたことを活かして、今後も最善の医療を提供できるよう努めていきます。今後もお世話になることがあると思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

岡山労災病院 初期研修医 原 和輝



院内研究発表会を開催

3月13日に、第17回 院内研究発表会を開催しました。発表された4演題の要約をご紹介します。

●抗生剤ワークシートの集計結果(2023)

院内感染委員会 赤松 由紀子

2023年に使用された抗菌薬注射剤は、ペニシリン系(35%)、セフェム系(58%)、メロペネム(2%)、バンコマイシン(5%)であった。そのうちメロペネム、バンコマイシンは多剤耐性菌の難治例で使用したもので、全例で治療効果が上がっていた。耐性菌発生予防には、原因菌の薬剤感受性チェックが大変重要である。2020年9月より、抗菌剤ワークシートの効果判定チェック欄に「培養検査(有・無)」記入欄を追加してチェックもれの予防に活用している。

●「食べたい」を叶える取り組み

看護部 藤原 佐千世

摂食嚥下障害のある患者に、咽喉マイクを使用した摂食機能訓練を行った。咽頭マイクをは、複数人で嚥下音を共有でき、聴診器るるいう利点がある。咽喉マイクを使用することができ、患者の希望で誤嚥への恐怖心が軽減でき、患者の希望では、多職種で情報を共有し「食べされるのが怖い」という不安を軽減するために有用であった。

●嚥下障害患者の意思決定支援を考える

医療安全管理委員会 新田 照美

高齢患者において経口摂取が困難となった場合、本人が希望する支援をすることが望ましいが、患者本人が何を希望しているかわからないことも少なくない、そこで私たちは院内で「意思決定支援シート」を作成し、それを用いて家族面談を実施している。その結果、本人や家族の思いと尊厳を守ることができたのではないかと考える。

●退院前訪問指導

リハビリ部 藤木憲二

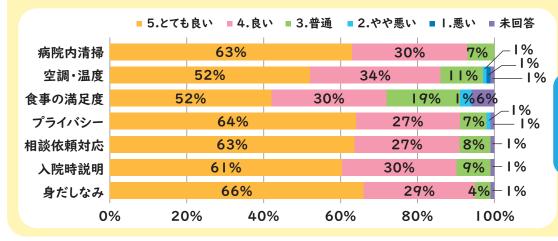
退院前訪問指導とは、入院期間が1ヶ月を超えると見込まれる患者の円滑な退院のの患者や家族等に対して行う退院後の在宅での療養上の指導である。退っての療養上の指導である。といり、ケアマネジリ、ケアマネジリ、ケアマネジリ、ケアマネジリ、ケアマネジリ、ケアマネジリ、佐宅改修業者、リカるとは患者が自宅でのADL状況を確認、福祉用具選定・住宅改修のサポートとでで認、福祉用具選定・住宅でのADL状況を確認、福祉用具選定・住宅でのサポートをで表が退院後のただったがしたができる。また、院内られ、といりでは、自宅環境を想定した内容のリハビリテーションが行える。



令和5年度 退院時アンケート年間集計

令和5年度の退院時アンケート結果です。看護師が声掛けをして直接回収しているため、95.8%と回収率が高く、多くの患者さんからご意見や評価を頂きました。お褒めの言葉や感謝の言葉はスタッフの励みになっています。最近増えたご意見がWi-Fi設置に関することです。以前から検討してきましたが、当院ではセキュリティ面を考慮しフリーWi-Fiは設置せず、「モバイルWi-Fiの持込み可能」といった案内をだすことで対応することとしました。今後も患者さんの声に耳をかたむけながら、気持ちよく安心して療養いただけるような病院にしていきたいと思います。

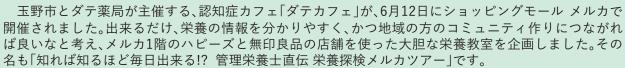
患者サービス向上委員会 山崎 早苗



アンケート回収率

95.8% 430枚/449枚

管理栄養士による栄養教室を開催





最初に「健康を支えてくれるのはちょきん!(貯筋)」、「栄養表示の見方」などをお話しました。その後、「野菜の350gはどのくらい?」クイズでは、実際の野菜を容器にのせては「このくらいかな?」「いや、もう少し!」など真剣に取り組まれていました。そして、思ったよりも350gは量が多いことに驚いていらっしゃいました。その他、歩行速度や握力などのご自身の身体状況を確認した後、店舗内でカップ麺や惣菜の選び方、防災食品などの実際に見て体感するツアーを実施しました。地域の方31名がご参加くださり、積極的に質問をしてくださる皆さんの姿勢に、感銘を受けました。今後も地域の方のお役に立てる事が院内でも、院外でも出来たら良いなとワクワクしています。

管理栄養士 園井 みか

スタッフのひとりごと



私が中谷外科病院に就職して14年が経ちました。この間に結婚、出産を経験し現在は仕事と子育ての両立に奮闘中です。子どもは少し前に2才になり保育園に通っています。今一番好きなものは、はたらく車です。おもちゃも大好きですが本物にはかないません。中でも、ごみ収集車はアイドルです。毎朝、少し早めに自宅を出発し駐車場から車の見学会です。朝は、バスやトラックが多いので大はしゃぎ。「バス、バイバーイ」「トラックおっきいねー」と伝えてくれるようになりました。ときどきパトカーやごみ収集車が通るとこちらも必死です。朝、家を出るまで毎日戦争ですが、子どもが好きなことを一緒に楽しむことで、一日が笑顔でスタートできます。こんな時間も大切に、これからも仕事も子育ても私なりに頑張ろうと思います。

事務部 三村 美紗世